

子育て世帯向けの公共賃貸住宅 「COCOTTO」を設計！

株式会社後藤組 設計室

ともき
後藤 智揮 さん



←設計・施工を手掛けた「新篠津の家」
木の素材を活かしたシンプルで
気兼ねなく使えるデザインを心
掛けています。



建物の「軸組模型」→
軸組模型で検討しながら設計を
しています。建築も人間と同じ
で骨格が大事。

今回は当別町出身で、一級建築士として活躍されている後藤組設計室・後藤智揮さんにお話をお聞きしました。

当別から京都へ

父や祖父、叔父など、建築の仕事に携わる人の多い環境で育ちましたが、幼少期は農家だった祖父母の家で過ごすことが多く、自分も建築をするぞ！という気はありませんでした。当時の将来の夢は医者。小児ぜんそくで体が弱く、お医者さんが身近で憧れる存在だったからだと思います。

転機は大学への進路選択でした。悩んだ末に、修学旅行で訪れた京都のまちで建築を学べたらと思い、京都大学へ進学。周りも背中を押してくれました。大学では設計とホッケー中心の4年間を過ごしました。建築以外の道に進む同期も多い中、卒業設計のときに建築設計を続けたいと思うようになりました。

川崎と当別の2拠点で活動

大学院で居住空間学を学んだ後、建築の中でも特に住宅設計の道に進みたいと考え、京都と東京の2つの設計事務所に勤務。木造住宅を中心に担当しました。

8年前に設計室を開き、現在は自宅兼事務所のある川崎と当別を行き来しながら、住宅設計を中心に活動を行なっています。当別でも、3月に完成した公共賃貸住宅「COCOTTO」の改修設計をはじめとしたプロジェクトを行っており、今後も町内での活動をさらに広げていきたいです。

変わらない価値を求めたい

設計はなるべくシンプルになるよう心がけています。京町家や寺社などが長く残ってきた要因の1つにシンプルさがあり、そこに時代で変わらない価値があると考えられるからです。柱や梁などの架構をあえて見せる、断熱性能や耐震

性能などに偏らず、光や風、音、香り、肌触りなどにも配慮するなど、バランスの良い設計を心がけています。

つくる過程も大切にしている、クライアントと産地へ出かけたリ、職人の技を見ることもあります。打ち合わせだけでなく、実際に体感してもらうことで、愛着を持って長く暮らしてもらうことに繋がります。

COCOTTO にかけた思い

私も現在2児の子育て中です。COCOTTOの改修設計にあたり、大人も子どもも快適に楽しく生活できるよう「オープンキッチン・育てる3帖間・木質化・菜園」などの要素を盛り込みました。役場建設課と議論を重ね、新築住宅とはまた違った雰囲気のある、新しい町営住宅になったと思います。COCOTTOが家族の成長とともに、変化し育っていくのを楽しみにしています。